



三条北ロータリークラブ週報

**ロータリーを高めよ、
思いを尽くし、熱意を尽くし!!**

国際ロータリー会長 バウロ V. C. コスタ 第256地区ガバナー 原 猛

例 会 日
1991. 3 . 5
累 計 No 209
当 年 No 33

会 長 / 今 井 克 義

幹 事 / 本 間 茂 男

S A A / 堀 川 正 幸

例会日 / 火曜日 PM12:30~1:30

例会場 / 三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局 / 三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事 : 卓話「三条ミュージックキャンプ&選抜バンドコンサートについて」

三条市立第三中学校校長 永塚光雄殿

出 席 : 本日の出席 51名中36名

先週の出席率 51名中48名 94.12%

2月の出席状況 会員数51名 例会数4回 平均出席率90.69%

先週のメークアップ: 2月28日 見附RCへ 淵岡 茂君

3月4日 三条南RCへ 佐藤啓策君 石川勝行君

ゲ ス ト : 三条市立第三中学校校長 永塚光雄殿

ビ ジ タ ー : 三条RCより 渡辺喜彦君 藤田紘一君 堀川政雄君

三条南RCより 田中正佐久君

会 長 挨 拶 : 今井克義

三月、第一例会日です。春になりました。春の訪れを皆様は一体、どんなことからお感じになりますか。一日一日と日差しがのびてくることからですか?庭の木が芽ぶきに備えて軟らかい色をつけはじめてきたことにでしょうか?食卓に、タラの芽やフキノトウの天ぷらなどがでた時かも知れません。道路傍の残雪が黒く汚れて、車で走るとホコリがまいあがるようになればもう春真近かです。春という季節は暦では、2月4日の立春から5月4日頃の立夏までの間をいいます。ちょうど今頃、3月5日頃は御存知のように二十四節気の歴では啓蟄(けいちつ)と呼ばれている季節です。春になって地中から虫がはい出て活動をはじめる。桃の花が咲きそう時期と物の本には書いてあります。しかし、表日本に比べて、我々の地方は約1か月、春の足音は遅いですね。小学校時代、国語などの教科書の絵に入学式の図で満開の桜の下の校門を、母親に手をひかれ新入生が登校する情景が載っていたものですが、子供心に不思議に思ったものです。これは桜の花ではなく梅の花の間違ひではないだろうかと。また、3月といえば卒業式です。それぞれ皆様も懐かしく思い出されることでしょう。高校の卒業式に国旗をあげるあげないとか、君が代を歌うとか歌わないとか

達は休みの時間も放課後もずっと練習を重ねた。二重とびや三重とびをやっているうち縄の中央はすり切れてしまう。しかし、そのうち必ず跳べるようになると先生は言った。バイオリンの練習も一緒であると思います。正しい方法で楽器を持ち、音を出す練習を繰り返す。縄跳びの縄がすりへるように、弦を押さえる。左手の指が弦の形にへっこんでくる。どうすればバイオリンのあの難しいところが上手になるのかと苦しむたびに千寿さんは縄とびの練習を思い出した。何十回も何百回も同じことを練習するたびにいつか楽に指が動き、曲がきれいに弾けるようになっていっています。大きな夢は極く小さいつまらない小さな努力から生まれるという大切なことを一本の縄から学びました。縄が切れるたびに上手になれるという教えが一生を左右しましたと述べておりました。

定 例 理 事 会

開 催 日 時 平成3年3月5日(火) 13:35~14:40

開 催 場 所 三条ロイヤルホテル

出 席 者 今井克義 本間茂男 平松利朗 堀川正幸 丸山誠一 羽賀一夫 笹原勝治

小林 満 吉川吉彦

議 事

① 三条ミュージックキャンプと選抜バンドコンサート経過報告と検討

日本でも一流の先生方をお願いすることが出来た。予算内で出来そうである。会員・ご夫人のお手伝いを5月11日(土)・12日(日)の二日間にわたりお願いしたい。詳細は4月に入ってから決定

② 3月・4月の例会プログラムの件

③ 下半期100%出席例会の実施

日 時 4月9日(火) ポール・ハリス・フェローの生誕に因み

④ 湾岸戦争救済資金募集のお願い 一人2,000円の予定

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

I 真実かどうか III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か IV みんなのためになるかどうか

3月12日例会: 会員卓話 梨木建夫君「わが生い立ち」

3月19日例会: 外部卓話 整形外科武藤先生「廃用症候群について」

新聞を賑わしていましたが、我々の時代もそんな問題があったのではないのでしょうか？ちょっと記憶にありません。今日の卓話は第三中学の永塚校長よりおいでいただきました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

幹 事 報 告： 本間茂男

◇記念式典のご案内

中条ＲＣ創立30周年

日 時 6月23日（日）

会 場 新潟イリノイ友好会館

桐生南ＲＣ創立25周年

日 時 5月19日（日）

会 場 桐生地域地場産業振興センター

◇例会変更のご案内

三条南ＲＣ

日 時 3月16日（土）・17日（日） 3／13（月）の変更 記帳有り

親睦旅行のため

吉田ＲＣ

日 時 3月22日（金） 19:00～

会 場 千ぐさ

ニコニコボックス：

渡辺喜彦君（三条ＲＣ）久しぶりにメーキャップに寄せていただきました。今日はよろしくお願ひします。

今井克義君 先週のチャイナパーティーたくさんの御夫人の方の参加ありがとうございました。明日の料理教室の結果がすぐその晩の味に役立つことを期待して。

本間茂男君 選抜バンドコンサートの成功のために。ひさしぶりにスキーに行って来ました。

山 本 賢 君 永塚先生を歓迎します。

羽賀一夫君 先日娘がスキーのパヂテストで一級合格しました。指導員になるのだとがんばっています。今ではわたしよりうまいです。

堀川正幸君 先生、久しぶりでございます。ご無沙汰しまして、今日は大変ありがとうございます。

小 林 満 君 ボックスに協力して。

阿部誠一郎君 天気がよいのでボックスに協力。

坂内康男君 第三中学校永塚校長先生の卓話を楽しみです。大崎小学校長の時には大変お世話様になりました。今日はごくろうさまです。

山 下 厚 君 永塚先生を歓迎して。

して、子供達は非常に豊かな人柄、幅広い人柄に育っている。これがまあ大変嬉しいことだと思います。これは吹奏楽の本当の大きなねらいであろうこう思っております。私共、私などそういう点について全くうとうございまして、むしろ子供に学ばなければならない。こう思う訳でございます。これはまあ、吹奏楽のもつ意味の1つであると思います。もう1つはこの吹奏楽だけでなく部活等が特にそうでございますが、小さい時からあるいは、もっとも心身の発達が激しい中学時代に1つの事について全身、全霊を打ち込んでやっている。これは大きくなりましてから現体験、私はあの事をやったんだ。これがすごい力になるのではないかとこう思っております。お集りの方がいいがでしょうか。私自身が今この年になりましてふっと振り返りますのは、少年の時代の何かやったことでございます。厳しければ厳しい程、それが心の底に残っておりまして、それを思い出しますと元気が出る訳でございます。話は変って私自身は戦前の学校時代を過しましたので、国が非常に危険な状態という事で大変恐ろしいと思います。親のはんこうを盗みまして、海軍の飛行機を志しまして志願、海軍航空隊に入隊致しましてそれはそれは厳しい訓練を受けました。もう二度とあういう事は日本ではないだろうと思いますが、厳しい訓練を受けました。私の現体験の1つはそこにあります。どんな苦しい事があってもそのことを思い出します時には、やり通せると今でも自信をもっております。心身共に鍛えたと思っております。そういう事を今、子供達は部活を通して学んでいく人間が非常に多いのではないかと。その部活を通して学ぶ中で、それが勉強の方に生きてくるのではないかと思います。この部活の面から通しまして人間自身を、自分自身を鍛えて行く時にいろいろなお考えがございます。いわゆるお父さん、お母さん方、特に中学1年生に上った時のお父さんお母さんから、とく名で投書を頂く事がございます。それから学年会を開いても保護者会を開いた後の教授内容、こういう事がお父さん、お母さん方から出ましたと報告を受けます。それらの中に案外数の多いのが部活が厳しすぎる。もう少しゆるやかにならないのか。まあ家に帰って来ると足が痛い、腰が痛い、まるでお年寄りが家に帰って来たようだ。あれでは勉強もできない。中学の部活はもっとゆるやかにすべきであろうというご意見が毎年ございます。ごもっともだと思います。私共は部活をやりまして、これは限度を超えたら意味がございません。その限度と言いますのは難しゅうございまして、その子供に依じて相当厳しくやって差しつかえない子と、この子はここで止めるべきであった。この判断を担当教員が間違えますと大変な事になります。大勢の子供を扱っておりますとうまく行かない、卒直にご意見を頂載して度が過ぎるぞと注意をもらっている。その子にとって、ここまでは大丈夫と判断してやるのもいいのではないかと思う。と言いは、S61.2.24の朝日新聞の天声人語に載っていたのだが、天才少女といわれた名バイオリニスト千寿まり子さんが慶応大学の哲学科を卒業して、ある時慶応幼稚舎の機関誌にバイオリンと縄とびという一文を寄せている。何が出来るというきっかけは、私達の回りに沢山ころがっているのですよ。それは何でもいいのです。何か自分でやってみたいなあというものがあつたらそれで出来るまで何十回も何百回も練習してみるのです。とこう千寿さんは書いている。それは、このことを教えてくれたのは幼稚舎時代の恩師であった。先生は小さい子供達に縄を配って縄とびをさせた。子供